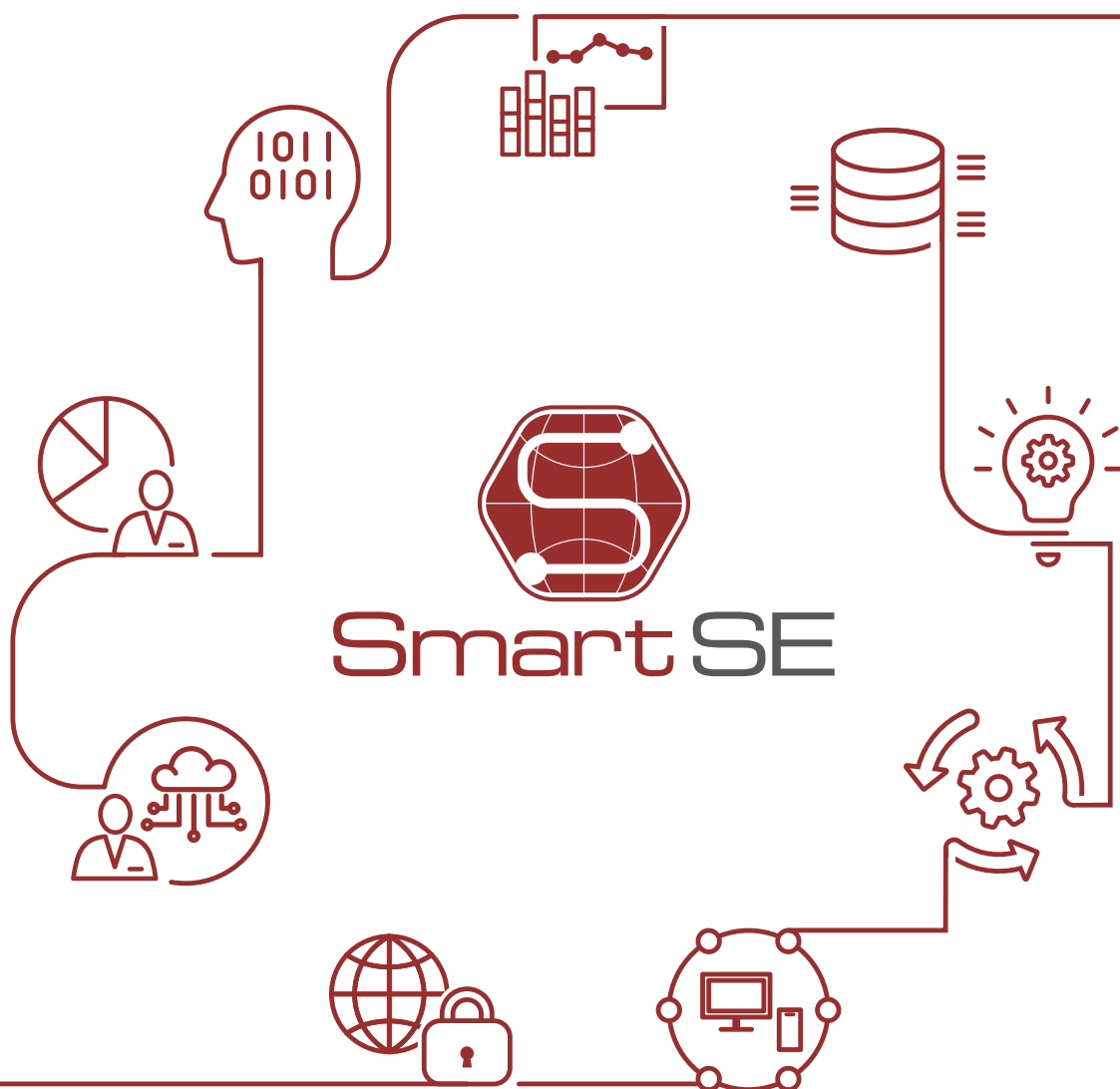




スマートシステム&サービスおよびDX推進を担う人材の産学連携育成

スマートエスイー

IoT/AIコース | DXコース

2026年7月版



WASEDA University
早稲田大学

連携大学一覧

早稲田大学 / 茨城大学 / 群馬大学 / 東京学芸大学 / 東京科学大学 /
大阪大学 / 九州大学 / 北陸先端科学技術大学院大学 / 奈良先端科学技術
大学院大学 / 東京工科大学 / 東洋大学 / 国立情報学研究所

学校教育法に基づく
履修証明プログラム

厚生労働大臣認定
教育訓練給付制度対象

募集案内および募集要項は、Web サイトをご覧ください

スマートエスイーWeb サイト

<https://www.waseda.jp/inst/smartse/>



スマートエスイーとは

スマートエスイーは、文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 (enPiT) enPiT-Pro」の補助事業として、2018年に開講しました。教育の質の高さが認められ、同省の中間ならびに事後評価で「S評価(最高位)」を獲得しています。enPiT-Pro終了後は、早稲田大学のリカレント教育プログラムとして事業を継続。IoT/AIコースに加え、2022年より新たにDXコースを新設し、生成AIの要素を取り入れるなど、時勢に即した学びを提供しています。



価値創造や変革を推進するために必要な力は、リカレント教育による人材育成にほかなりません。スマートエスイーは、大規模な産学連携により、アカデミックかつ実践的で他に類を見ないプログラムです。領域横断型のカリキュラムと豊富な演習を通して、知識・技術を身に付け、確かな課題解決能力を養います。生成AI技術に合わせ全領域を生成AI対応へ刷新し、進化し続けるスマートエスイーにご期待ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

早稲田大学 理工学術院 教授 鷲崎 弘宜

学びの集大成 修了制作・DXゼミ

まずは講義で学び、そこで得られた知識・技術をもとに問題解決に臨みます。所属企業の実課題はもとより、社会課題から起業アイデアまで、あらゆる「課題」が対象です。成果の発展として、担当講師との共同研究の継続や学会発表、大学院進学の道も。学会発表の参加費補助も行っています。

IoT/AIコース 修了制作

マンツーマン指導

DXコース DXゼミ

少人数ゼミ方式

修了制作の成果で特許権を取得

おしほりAIプロジェクト

堺財経電算合同会社 堺 康行さん
2020年度IoT/AIコース修了生



他の成果は
こちら

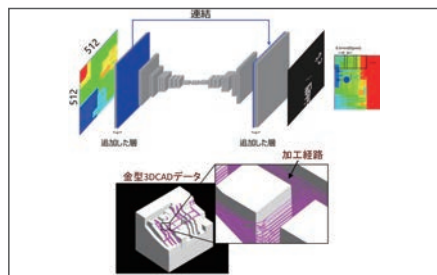


IoT/AIコースの課題をDX視点でさらに深堀

DXによる介護施設の働き方改革から人間の尊厳回復へ
オムツゼロへの挑戦

日清紡マイクロデバイス株式会社 岡本 智宏さん
2022年度IoT/AIコース・DXコース修了生

他の成果は
こちら



修了制作事例：深層学習の活用による金型加工用工具選定の自動化



修了制作事例：グリーンイノベーションのサービス価値設計



修了記念シンポジウム ポスターセッション

社会人の学びやすさを重視

● 講義は平日夜・土曜

IoT/AIコースは平日夜や土曜日、
DXコースは土曜日に実施。

● 手厚いフォロー体制

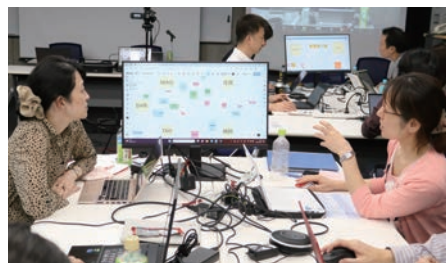
オンライン講義の録画を提供。
欠席時や復習に。
※一部科目は除く

● ハイブリッド型講義

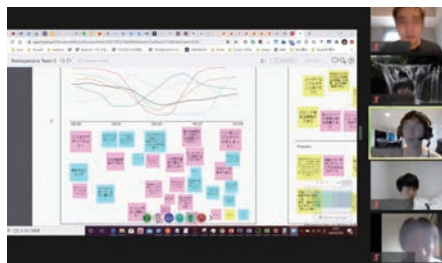
リアルタイム配信式(Zoom)を基本とし、演習科目を中心に対面式(西早稲田キャンパス)を同時に実施。講義ごとに参加方法の選択も可能。

● フルオンラインで修了も

すべての科目がオンラインで学べ、来校することなく修了することも可能。首都圏以外からの受講もスムーズに。



西早稲田キャンパスでのハイブリッド型講義



オンラインツールを使用したグループワーク



各種センサや計測機器を用いた演習

スマートエスイーのAIトランスフォーメーション

スマートエスイーは、以下の3つの取り組みを柱に、AI時代に対応した次世代の教育モデルを確立し、IoT/AI・DX分野の人材育成をリードしていきます。

1

生成AIに対応した カリキュラムの進化

各領域に生成AI関連科目を体系的・網羅的に設置。領域横断的に最新技術を学ぶことで、DX推進に不可欠な実践的なスキルを身に付けることができます。

2

生成AIによる 学修体験の向上と運営効率化

講義サポートツールやAIチャットボットを導入し、受講生の理解を促進します。学修体験の質を高めると同時に、持続可能な教育運営を実現します。

3

持続的な 人材育成エコシステムの形成

現場知見を持つ修了生が教育アドバイザーとして指導に回することで、最新の知見が継承・進化し続ける「学びの好循環」を実現します。

生成AI×DXで未来を実装する、新時代の事業創造リーダーへ

2つのコース デジタル変革を担う人材を「エンジニア」と「マネージャー」の両面から捉え、目指す人物像に合わせた2つのコースを用意。

領域横断型 ビジネス、アプリケーション、情報処理、通信・物理の各領域と、それらを有機的につなぐ総合実践。フルスタックかつ専門性のある人材を育成。

産学連携 各科目には大学の教員と実務家をバランス良く配置。大学が得意な理論に加え、企業の豊富なケーススタディを用いることで、より実践的な学びへ。

IoT／AI コース

IoT・AI・ビッグデータ等の専門分野に精通し、ビジネス視点も備えたエンジニア

ビジネス	アプリケーション	情報処理	通信・物理
IoT・AIシステム・ビジネス入門			
IoT・AI イノベーション	アーキテクチャ	機械学習	無線通信・IoT通信・センサネットワーク
	品質 エンジニアリング	深層学習	
	組込み・生成AIシステム	ビッグデータ マネジメント・アナリティクス	
IoT・AIとシステムズアプローチ	クラウドサービス・分散システム	クラウド基盤構築演習	
SXビジネスモデル・仮説検証	セキュリティ・プライバシー・法令	推論・知識処理・自然言語処理	
	生成AIを活用したソフトウェア開発演習	AIエージェント開発演習	センサ
スマートIoTシステム開発実習			
修了制作			
総合実践			

エン트리（入門）

スタンダード（専門知識）

アドバンス（応用力）

DX コース

デジタルを理解のうえ、ビジネスデザインやDX推進をリードするマネージャー

ビジネス	アプリケーション	情報処理
AIビジネスゴール・戦略デザイン	AIセキュリティ・リスクマネジメント	データ科学・ビジネスインテリジェンス
	RPA	
SXビジネスモデル仮説検証	ノーコード	AI基礎
	機械学習工学	
デジタル経営	特別聴講科目 生成AIを活用したソフトウェア開発演習	サステナビリティ・DXと生成AI
アジャイル・ビジネス検証		
DXゼミ		
総合実践		

スタンダード（専門知識）

アドバンス（応用力）

4月～9月（6か月）	開講期間	10月～3月（6か月）
20科目	開講科目	12科目
30名	定員	30名
大学入学資格を有すること（必須） MCPC：IoTシステム技術検定中級合格者、 または、合格者と同等の知識や実務経験を有すること	受講要件	大学入学資格を有すること（必須） ビジネスの実務経験を有すること なお、情報技術分野の実務経験は問わない
提出書類による選考 ※選考の過程で必要と判断した場合のみ面接を実施	選考	提出書類による選考 ※選考の過程で必要と判断した場合のみ面接を実施
605,000円（税込）	受講料	495,000円（税込）
必修24時間を含む120時間以上の科目を取得	修了要件	必修24時間を含む60時間以上の科目を取得
早稲田大学の履修証明書を発行	履修証明書	早稲田大学の履修証明書を発行
専門実践教育訓練の対象講座 ※最大で受講費用の70%を支給	教育訓練 給付制度	特定一般教育訓練の対象講座 ※最大で受講費用の40%を支給

▶ 産学連携 多彩な講師陣 スマートエスイーが目指す「フルスタック+専門性」のために必要不可欠な講師陣は、学界と産業界合わせて100名を超えます。また、各領域に設けたリーダーを中心として、プログラムの改訂にあたっています。

講師の主な所属先 ＜大学＞早稲田大学／茨城大学／群馬大学／東京学芸大学／東京科学大学／大阪大学／九州大学／北陸先端科学技術大学院大学／奈良先端科学技術大学院大学／東京工科大学／東洋大学／鶴見大学／情報・システム研究機構（国立情報学研究所）／工学院大学／大阪工業大学／中央大学／東京理科大学／公立諏訪東京理科大学／日本工業大学／名古屋国際工科専門職大学	＜産業界＞レッドハット／LINEヤフー／NTTテクノクロス／グーグル／サイバーエージェント／楽天／Kii／チェンジビジョン／フォーマルテック／スタートアップ・ブレイン／Magic Moment／匠BusinessPlace／野村総研／西川 日本睡眠科学研究所／SI&C／クレスコ／モバイルコンピューティング推進コンソーシアム／次世代センサ協議会 ※順不同
--	---

さまざまな業界が一堂に

IT、通信、電気・機械メーカーといった分野以外にも、食品、ヘルスケア、金融など、広く受講生を受け入れています。グループワークを通して、さまざまな業界特有の課題や意見に触れることも魅力のひとつです。また、職種についても、現役のシステムエンジニアに加え、コンサルタント、人事、営業、弁理士等の専門資格保有者など、多岐にわたります。

企業派遣

修了制作に所属先企業の課題を持ち込むことができるため、2018年の開講以降、継続的に受講生を派遣する企業が多いこともスマートエスイーの特長のひとつです。修了制作のレベルの高さ、そして何より、受講生の修了後の活躍もあって、企業の人材育成担当者からも厚い信頼を得ています。

修了制作の成果を
製品機能向上に活用

Canon

キヤノンの将来のソフト開発を担う技術者育成のため、社員を社内選考して派遣しています。受講生は修了制作で製品の機能向上や工場の生産性向上など幅広いテーマに取り組み、実業務に活用しています。最新の技術を学ぶ機会により視野が広がり、仕事と受講を両立させる姿は職場にも良い影響を与えています。

デジタルビジネスプラットフォーム開発本部 部長
高美 誠 様

受講生の主な所属先

キヤノン株式会社／三菱電機株式会社／株式会社デンソー／本田技研工業株式会社／富士通株式会社／サントリーホールディングス株式会社／株式会社コマツ／株式会社不二越／全日本空輸株式会社／東日本電信電話株式会社／日本通運株式会社／中外製薬株式会社／株式会社レゾナック／マルハニチロ株式会社／株式会社野村総合研究所／メットライフ生命保険株式会社／日本ペイント株式会社／DIC株式会社／伊藤忠テクノソリューションズ株式会社／株式会社日本政策金融公庫／富士フイルムビジネスソリューション株式会社／リコージャパン株式会社／トランスコスモス株式会社／PwCコンサルティング合同会社／ボッシュ株式会社

※2024-2025年度実績（抜粋）

修了生の声



スキル強化により社内ですテップアップ
技術系の知識の学び直しに加え、ビジネス系のスキルが強化できたことにより、修了後はマネジメント側へ。さらに社内です希望者を募り、2022年度は2名がこのプログラムを修了しました。また、自身も昨年度から演習系講義のサポートに参加。修了生の所属や年度を超えたつながりに一役買えたと思っています。

バイオニア株式会社
田淵 大将さん(2019年度IoT/AIコース修了生)



最新の知識を網羅的に
「セキュリティ・リスクマネジメント」の講義では、DXに取り組む際に重要なテーマであるセキュリティや個人情報保護について、関連の法令が変わっていく中、アップデートが必要な最新の知識を網羅的に学べます。同僚たちにも受けさせたい授業です。真面目に学びたいという受講生が集まっています。その雰囲気も私はとても好きでした。

コントロール・リクス・グループ株式会社
竹田 博彦さん(2022年度DXコース修了生)



技術とビジネスの両輪で社内のDXをリード
「DXビジネスとは何か」、これを深く学んでいきたいと思い受講しました。単なる学びだけでなく、実課題を学んだことに結びつけて解決する一連のプロセスを、コース内で実践できることがスマートエスイーの特長です。スマートエスイーで学んだ技術とビジネスの両輪で、会社の新規事業を立ち上げていくことが今の私のミッションです。

日清紡マイクロデバイス株式会社
岡本 智宏さん(2022年度IoT/AIコース、DXコース修了生)

その他の修了生の声



IoT/AIコース



DXコース

修了生のインタビュー動画(受講のきっかけ、講義の感想、修了後の展望など)、修了後のフォローアップ調査の結果をご覧ください。

講師の声



スマートエスイーでは、セキュリティと機械学習工学の科目と総合領域を担当し、主に修了制作を取りまとめています。修了制作は、IoT/AIコースで学んだことを総動員して受講生自身の実課題を解決し、新しい価値を創造する実践的な演習です。受講生はこの修了制作をもとに、学んだ技術を社内です導入したり、新規ビジネスを立ち上げたりしています。ぜひ、スマートエスイーでビジネスから通信までのフルスタックの専門性を学び、IoT/AI・DXにおける新しい価値創造をいっしょに議論していきましょう。

QAML株式会社 代表取締役CEO
早稲田大学 理工学術院総合研究所 客員上級研究員(研究院客員教授)
吉岡 信和

スマートエスイーコンソーシアム

スマートエスイーは、単なる教育プログラムの提供にとどまらず、企業や大学をはじめとした教育研究機関の関係者の協力のもと、産学連携による新しい研究の発展や、それを担う人材育成を目的としたスマートエスイーコンソーシアムを構築しています。

産学連携の新しい学びのネットワークを形成するため、交流会・公開シンポジウム・セミナー・勉強会等のイベントを主催。「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」では、石川県・小松製作所・早稲田大学の包括協定に基づき、技術者向けのIoT研修、およびマネジメント層を対象にしたCDO(Chief Digital Officer)養成研修を地域密着で実践しています。

この他、SXの一環として、コンソーシアムを通じたスマートエスイー修了生の

IoT/AIコースとDXコースの教育アドバイザーやチューターとしての登用や、受講生、講師陣、会員企業・連携大学をはじめとした相互の人材交流などの活躍の場を提供することで、持続的な人材育成エコシステムを形成し、学術・研究・教育システムとしてステークホルダー全体の価値向上を目指します。

